

災害時の出動について（参考）

多摩市消防団 第8分団

平成30年3月1日

1. 基本事項

- (1) 火災出場における消火活動を速やかに行い、被害を最小限に留める。
- (2) 指揮命令系統を一本化し、迅速な対応をとる
- (3) 全団員が分団長指揮のもと共通認識を持ち、安全な行動をとる
- (4) 慌てず焦らず確実に行動する。

2. 火災出動の判断

- (1) 全団員に“出火報”一斉メール
- (2) 第1出場：速やかに詰め所集合。
- (3) 第2出場：“出火報”に続いて“火災延焼中”又は“白煙確認”の場合のみ、速やかに詰め所集合。
- (4) 第3・4出場：分団長より出動命令があったときのみ、速やかに詰め所集合。
- (5) 残留出場：残留出場エリア（一ノ宮1丁目～4丁目）の出場は禁止。
- (6) 応援出場：“出火報”に続いて“火災延焼中”又は“白煙確認”の場合のみ、速やかに詰め所集合。

3. 出動時における行動

3.1 先着隊がいる場合

- (1) 3人（指揮者、機関員、活動補佐）以上集まった時点で階級の最上位者が指揮者となり、活動開始。
- (2) ポンプ車を詰所から出し、出動できる準備（シャッターの開閉注意！）
- (3) 現場確認（住宅地図又はグーグルマップの活用）
- (4) 消火栓、防火水槽の位置確認
- (5) 詰め所常備の耐火服を着用（機関員は、安全ベスト着用）
- (6) 出動報告：防災安全課（災害時は、本団が多摩市防災安全課に“団本部”を設置）へ無線
 - ・こちら第8分団、只今から、●●火災現場へ出動します。

(7) 出動

- ・ 詰め所シャッターを閉め、出動中の看板をかける
- ・ 電子サイレン・赤色灯・マイクの活用
- ・ 赤信号で交差点に入る際は、交差点に入る手前からモーターサイレンを活用
- ・ 交通事故に注意してポンプ車を運転
- ・ 歩行者等には十分注意

(8) 現場到着、活動

- ・ 現場帰着時：こちら第8分団、●●火災現場へ到着しました。
- ・ 指揮者は指揮本部に態勢報告、無線着用
- ・ 機関員は車止め
- ・ 指揮者指示のもと、8分団の活動内容を確認
- ・ 現場に車で来たものは、フロントガラスに消防活動中の標識を出し、必要に応じて車にキーをつけたまま活動。
- ・ 現場に後から参集したものは、ポンプ車に来て4番員に指揮者を確認し、指揮者の指示のもと活動に参加
- ・ 活動中は怪我のないように努める。怪我等した者は、速やかに指揮者に報告する。
- ・ 指揮者よりも階級が上位の者が後から来た場合は、全団員を確認し引き継いでも問題ない場合は、その時点で引継ぐ。そうでない場合は、鎮圧されるまで変更しない。
- ・ 鎮圧後、ポンプ車前に集合した時点で、階級最上位の者が指揮者となりそれまでの指揮者から引継ぎ、本部に報告。その後の活動内容を確認する。(活動報告書：A5様式)

(9) 詰め所帰着

- ・ こちら第8分団、詰め所へ戻りました。
- ・ 備品消耗品の消耗度確認
- ・ 資機材の補充・ポンプ車燃料の補給
- ・ ホースを干す。

(10) 帰宅時報告

- ・ 詰所のホワイトボードに、日付・記入時刻・災害住所・活動内容・出場者を記入。
- ・ 出場者から全団員へ、撤収報告をメール。